

各関係機関長 様

熊本県病害虫防除所長

麦類赤かび病の薬剤耐性菌検定結果（技術情報第7号）について（送付）

このことについて、検定結果を取りまとめましたので、防除指導の参考資料としてご活用下さい。

麦類赤かび病の薬剤耐性菌検定結果（技術情報第7号）

目的 県内の麦類赤かび病の防除薬剤としては、主にチオファネートメチル剤を使用しており、本剤に対する耐性菌の発生状況を把握する。

1. 対象病害 麦類赤かび病
2. 採集作物 コムギ、オオムギ（品種不明）
3. 採集日 2004年5月6 - 7日
4. 検定方法
1) 供試菌 熊本県内25圃場の101菌株を用いた（表1参照）。

表1 麦類赤かび病の採集地点名、麦種及び供試菌株数

No	地点名	麦種	菌株数	No	地点名	麦種	菌株数
1	玉名市北牟田1	コムギ	6	14	甲佐町糸田1	コムギ	5
2	菊池市赤星1	コムギ	8	15	甲佐町糸田2	コムギ	5
3	菊池市赤星2	コムギ	4	16	甲佐町糸田3	コムギ	3
4	菊池市赤星3	コムギ	6	17	嘉島町上仲間1	コムギ	5
5	七城町砂田1	コムギ	9	18	嘉島町上六喜1	コムギ	1
6	七城町砂田2	コムギ	1	19	城南町今吉野1	コムギ	1
7	七城町砂田3	オオムギ	1	20	城南町今吉野2	コムギ	2
8	大津町新1	コムギ	6	21	城南町今吉野3	コムギ	7
9	大津町新2	コムギ	5	22	城南町今吉野4	コムギ	1
10	御船町小坂1	コムギ	3	23	富合町新1	コムギ	7
11	御船町小坂2	コムギ	4	24	富合町新2	コムギ	2
12	御船町小坂3	オオムギ	3	25	富合町新3	コムギ	3
13	御船町小坂4	オオムギ	3			供試菌株総数	101

- 2) 菌分離 発病穂よりFG培地、素寒天培地を用いて単菌糸分離し、PSA斜面に保存した。
- 3) 供試薬剤及び濃度 トップジンM水和剤（チオファネートメチル水和剤（70%））
500、100、50、10、5、1ppm
（トップジンM水和剤（70%）の1000倍液は700ppm）
- 4) 培養温度及び時間 25、48時間
- 5) 判定基準 検定培地上で菌糸伸長の有無を調査した。

5. 結果及び考察

- 1) 県内25圃場から分離された101菌株におけるトップジンM水和剤のMIC値（最小発育阻止濃度）は5ppm（常用濃度：467～700ppm）であり、すべての菌株でトップジンM水和剤に対して感受性であった。
- 2) 他県ではチオファネートメチル剤に対する耐性菌を確認しており、本県でも耐性菌が出現する可能性があり、同一薬剤の連用を極力避け耐性菌の発生を抑える。